



NCダボ打ち機

設備投資のみ

株式会社いちけん プログラム制御の木工設備導入による 新たな生産体制の構築

これまで受注生産型の生産形態だったが、受注拡大と自社製品の製作を目指すにあたり
作業の効率化と生産体制の見直しを行うため、ものづくり補助事業を活用した。

〈 事業のきっかけ 〉 OPPORTUNITY

当社は、椅子やテーブルといった家具から建具や棚などの住宅用品までありとあらゆる木製品を製造している木製品メーカー。昭和59年に創業し、当時から磨き上げてきた職人の技が評判で難しいとされている変形家具も短期間で納品できるため顧客から信頼を得てきた。

業務は主に設計事務所から依頼を受け、送られてきた設計図を木製品用の設計図に整え、それを元に工場で製品化する受注生産型。これまではそのスタイルがメインだったが、自社商品の製作を目指すため、現在受けている業務を効率よくこなす必要がでてきた。それと同時に顧客からの生産量拡大要請があり、対応できる体制を構築するために、プログラム制御の木工設備（自動一面かな盤、NCダボ打ち機）を導入するに至った。

〈 事業の取り組み 〉 PROGRESS

作業工程の中で、最も時間がかかるのが材料の厚みを調整する工程とダボ打ちの工程だった。そのため、それらの工程を効率化する自動一面かな盤とNCダボ打ち機を導入。

材料の厚み調整の工程では、今まで定規を用い目測で調整していたので、微調整が必要になり2、3回機械に通さなければならなかった。それが、導入した自動一面かな盤では、厚み調整をデジタル入力により行うため一度で調整できるので工程が短縮され、精度も向上した。

木材と木材を接合する「ダボ」を製作するダボ打ちの工程では、今まで目測でダボ穴をあけ、手作業でダボを打っていたためかなりの時間がかかっていた。新型のNCダボ打ち機では、ダボ穴加工とダボ打ちを一台で行うことができるため、2工程だった作業が1工程に短縮できた。

COMPANY MIND

熱血起業人

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

受注拡大と自社製品製作を実現する

今回、自動一面かな盤とNCダボ打ち機を導入したことで、生産効率の向上と生産コストの削減、品質向上を実現できた。

これらにより、顧客の生産拡大要望に応えられるようになったので、今後は公共施設工事や集合住宅、ホテル等の市場にも進出していきたい。既存の受注がある顧客から情報収集を行い受注の機会を増やしたいと考えている。

また、それらに加え自社製品を製作できるように、さらに機械を最大活用していく。そのためには、人員を増やし機械をフル稼働できるような体制を整えていきたい。

株式会社いちけん
代表取締役 上原 篤樹



ダボを打ち込んだ木材



自動一面かな盤



工場内の様子

〈 事業の成果 〉 ACHIEVEMENT

自動一面かな盤とNCダボ打ち機を導入したことで、作業の効率化を実現できたため大幅に作業スピードが上がった。作業時間が短縮したことで労務費等のコスト削減にもつながった。

また、両機械ともデジタルで削り幅や位置の調整を行うため、精度が上がり品質の向上も実現できた。時間短縮と品質向上が可能となったため、大量の受注を受け入れる体制が整ったといえる。これにより顧客からの拡大生産要望を満たすことが可能となり、同業他社に対して差別化を図ることができる。

機械を導入したタイミングで大口の受注を受けた際に、今までは他社にも協力を依頼していたが、今回は自社内だけで作業をこなすことができた。

導入後自動一面かな盤は全員が使えるようになった。NCダボ打ち機を作業員全員が使えるように技術指導を行いたい。

COMPANY OVERVIEW

代表者名	代表取締役 上原 篤樹
設立年	昭和59年
所在地	〒901-0412 沖縄県島尻郡八重瀬町上田原69-1
TEL	098-835-7680
FAX	098-835-7681
ホームページ	なし
資本金	100万円
従業員数	8人
業種	木製品製造業

